

月華

「長所からみていこう」

大本山清浄華院法主 飯田実雄台下



五十数年前、大正大学に入学し、書道部に入り中村素堂先生に師事しました。

大学三年の時、「書道科教育法」を受講しましたが、その最初の講義が印象的で今でも鮮明に思い出します。

「君達は書道の先生になり生徒の清書を添削する時がくるだろう その時に朱筆を持つとまず悪い所を見つけ出し朱をいれたくなるだろう でもその前に良い所を見つけて○をするように」

更に中村素堂先生の話は続きます。

「朱をいれて直し始めたら書き直した方がはやいでもそうするのではなく良い所をみつけるように字に良い所が見つからなかったらにじみ方が良い点の形が良いなど 何でもいいから良い所を見つけ出してほめてあげよう」と。

字を直すことより、ほめること、良い所を見出して○をつけよと教えてくれたのです。

整って綺麗な字がいいというのなら、活字や看板の字が一番良いということになるでしょうが、誰もそんな書を掛け軸にして鑑賞しないでしよう。

鶏頭書道会という書塾を初めて五十年、今でも五十人の生徒を指導していますが、朱筆を持った時には、『まず良い所を見つけて○をつける それからゆっくりと添削する』の教えを守っています。

字を書く時、豪快・繊細、線の強・弱、形が整っている・不揃い等はその人の長所であるとともに短所でもあります。作品を見る時には欠点から見ているのではなく、長所から見たいものです。

このことは人づきあいにも言えることでしょう。人の性格、例えば明るい・静か、温和・厳格、大胆・細心などは、その人の長所であると同時に短所でもあります。あらを探さず、長所からみていきたいものです。

フロアレクリエーション

夏の風物と言えば、そうめんやかき氷、フルーツポンチ！夏気分を味わってもらえたでしょうか？
またお誕生日会ではマクドナルドを配達し、綺麗なお花で、記念撮影会。とても良い表情をされています。出前寿司も好評でとても喜ばれていました！



孟蘭盆法要 ～関係物故者供養～

七月二十一日、浄土宗大本山清浄華院（飯田実雄法主台下）の後援のもと孟蘭盆（うらぼん）法要を行いました。
孟蘭盆は、サンスクリット語のウラバンナの音写語で倒懸（とうけん／逆さ吊り）という意味になります。祖霊を供養し倒懸の苦しみから救う仏教の慰霊行事で、一般には「お盆」の呼び名で馴染みが深いかと思えます。この時に祖霊に供養を捧げる習俗が、現在では「お中元」となっています。

つきかげ苑では、亡くなられたご入居者や当苑と所縁のあった方々の供養法要として毎年行っておりましたが、昨年はコロナウイルスの影響で中止を余儀なくされてきました。今年は清浄華院の大殿で三密にならぬよう感染対策を行い実施いたしました。



本年も多数のご遺族にもご参列いただきました。私たち職員は、故人から多くの思い出とたくさんさんの学びを頂いております。皆さまのご冥福をお祈りするとともに、頂いた学びを大切に活かしていきたいと思えます。

コロナ禍雑感

十月一日、京都市に於いても緊急事態宣言が全面解除となりました。

オリンピック開催とリンクするかの如く、全国的に感染者数は爆増し、京都府下においても桁違いの数字に目を疑う毎日でしたが、再びの緊急事態宣言の発令から期間延長を経て、やっと今回の全面解除に至ったという思いです。

ご入居者、ご家族の皆さまにおかれましてはベランダ面会の中止も含め、ご心配な思いでお過ごしだったこととお察しいたします。ただ、感染のリスクが無くなった訳では決してありません。状況継続における世間の緊張感の弱小化とストレスの増大、その反動を持つての秋の行楽シーズン到来、ましてや観光地京都、人流の増加は容易に想像が付きまします。世間の緊張が弱まると医療従事者は勿論、我々のような介護従事者におきましても反対に緊張感は一層高まります。そういった意味ではコロナ禍でのこの一年半、緊張の連続はずっと継続しているといった現状であります。

四月三十日より、京都市事業のもと週一回、施設勤務職員全員にPCR検査を行っております。毎週届く検査結果「全員陰性」の文字に胸をなで下ろす日々が続いております。ワクチン接種の効力の有無、三回目接種の有効性、治療薬の開発など、まだまだ多くの不確実な情報に翻弄され、緊張を持って過ごす日々は続くのでしよう。

引き続き皆さまのご理解、ご協力をお願いするとともに、一刻も早い状況の収束を望んでまいります。

新入居者紹介



4階つばき④番地 並河博子さん
朝ドラマや韓流ドラマが大好きで、大変多趣味でいらつしやいます。

1階うめ⑫番地 宮川實さん

甘いものと競馬が大好きです。喉の渇きには三ツ矢サイダーが一番だそうです。



4階大きく①番地 上田美さきさん
いつもここにこと笑顔でお過ごしです。社交ダンスが得意で職員と踊ってくださいます。

2階ふじ①番地 岸田幸男さん
活字が大好きで毎日新聞を熟読されています。クロスワードパズルは大得意。阪神ファンでいらつしやいます。



1階うめ②番地 松本一枝さん
よく通る声で元気にフロア内を闊歩されていらつしやいます。

4階つばき⑥番地 加賀艶子さん
お話し好きで色々教えてくださいます。早くもユニットのムードメーカーとなっておられます。



要望受付

令和三年六月中旬から九月中旬までに、ご入居者及びご家族から頂きましたご要望は十三件になりました。

ご要望の内訳は「安定剤の服用は事前に家族に相談してほしい」「転倒があった際は、すぐに連絡がほしい」「職員の意思を統一してほしい」「本人の状態をこまめに知りたい」「家族以外からの差し入れがあれば教えてほしい」「留守番電話に名前と簡単な内容を入れてほしい」と職員の連絡対応に関する内容が六件。「塩分制限をなくしてほしい」「軟らかいご飯に変更してほしい」と食事に関する内容が二件。「尿パッド交換時に、足の曲げ伸ばしなどのリハビリをしてほしい」「手の運動のために、洗濯物たたみなどを積極的にさせてほしい」とリハビリに関する内容が二件。その他に「レクリエーションへの参加の働き掛けをしてほしい」「褥瘡ができないようにケアしてほしい」「季節に合った服を着せてほしい」と三件ありました。

頂戴したご要望やご意見はケアプランの立案や各種委員会、フロアミーティングなどで検討し、ご入居者の生活がより豊かになるように迅速な対応に努めてまいります。

また、一階事務所横の掲示板の下に設置しておりますご意見箱や、各行政機関の要望受付窓口（市、区、国民健康保険団体連合会）及び第三者委員（地元学区民生委員など）へのご相談もご活用下さい。

つきかげ苑理念

私たちは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個性を大切にします。

「共生（ともいき）」思想に基づき、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

編集後記

先日、頭の尖った蛇にでくわしました。

毒蛇は三角頭とテレビで言っていたの思い出して、その場を離れました。後日、蛇について調べたところ、毒蛇は毒を頭部側に溜める為、頭の形状が三角になっていることが多いが、三角頭でも毒がない、三角頭でなくとも毒がある蛇が存在すること。ネットの普及等で、情報収集が楽になりましたが、正しい情報と誤情報が混在しているため、ひとつの情報だけを鵜呑みにはできません。コロナウイルスについても様々な情報や噂が飛び交うなかワクチンの接種も進んでいますが、ウイルスが消滅する訳ではありません。自身がウイルスを運ぶ可能性があるという事を常に意識し行動することは蛇足ではないと思います。

